

## 由良ヶ岳

(630m)

実施日：2023年07月06日（木）

天候：曇り、蒸し暑い

参加者： 8名 川添、川鍋、白岡、園田、田中、中原、牧野、園田

行程： 旧、丹後由良荘 10:38→10:56 小休止 10:57→11:09 小休止 11:15→11:17 小休止 11:20→11:35 五合目→11:50 小休止 11:54→12:13 小休止 12:17→12:33 尾根鞍部東峰、西峰分岐点 12:35→12:46 東峰 13:48→13:55 尾根鞍部→14:11 西峰 14:32→14:49 鞍部 14:52→15:15 小休止 15:18→15:27 小休止 15:32→15:40 中間点 3/6 合目 270m→16:09 旧、丹後由良荘裏手登山口

2台の車で、国民宿舎「丹後由良荘」に。宿の方に車2台停めさせて頂くお願いをしに伺う。玄関で内装工事をしてられる方に、ここの方はおられるか確認したところ、私ですとのこと。駐車をお願いについては快くOKを頂き、下山後入浴させてもらえないか頼んだところ、宿舎は8年前に閉鎖され、現在は個人宅とのことで、入浴はかなわず。ともあれ宿舎の裏手の登山口へ。ここから登山開始。森の中を上ってゆくが道は雨水で浸食され、深い谷状になっており歩きにくい。ここを通り過ぎると、傾斜が少しづつ急になり、風化した花崗岩のザラメ状の道に変わり、これはこれで歩きにくい。

何度も小休止をとりながら上る。尾根に近づくにつれ傾斜はますます急になり、今度は前日の雨で、水分を含んだ粘土状の道となり、上りにくいのは、しんどいでは往生する。入門コースのはずが、これは手ごわい。苦勞の末、尾根に到着。ここが東峰と西峰の分岐点の鞍部。12:30を過ぎてるため、予定を変更し、先に東峰に行き、お弁当にする。東峰は見晴らしがよい。景色を眺め、お弁当は少し下って、木立の日陰で採る。

食後來た道を引き返し、尾根の鞍部を通り過ぎ西峰を目指す。東峰に比べ、鞍部から距離は長い傾斜は緩く上りやすい。西峰は展望が良くないとの事であったが、海側の展望は効く。左手に天の橋立の砂洲も見える。西峰から尾根鞍部に戻り、上って来た道を下る。尾根からの下りは傾斜の急な粘土道で、滑りやすく歩きにくい。何人かは滑って尻もちをつく。粘土道を過ぎても、結構歩きにくい道が続く。何とか16時過ぎに登山口に戻る。元宿舎の玄関を開けて、お礼を言って戻ろうとしたが、誰もおられず。大きい声で礼を言って、車で帰る。入門コースとしてはハードなコースであった。

歩行距離 6.1Km 累積上り 704m 累積下り 716m





1, 旧、国民宿舎裏手の登山口



2, 尾根を目指して上る





3, 一回目の小休止



4, 風化した花崗岩の粒状の歩きにくい道





5, 二回目の小休止



6, 傾斜が急になって来た





7, 粘土状の急登



8, もう少して尾根の鞍部に、頑張れ！





9, ようやく尾根に到達



10, 東峰に到着





11, 由良川の河口、神崎海水浴場が良く見える



12, 少し下った木陰でお弁当





13, 東峰で全員



14, 西峰にもう少し





15, 西峰で全員



16, 下山開始





17, 尾根鞍部に戻る



18, 滑りやすい粘土の急斜面へ





19, 注意して下る



20, 傾斜は少し緩くなる





21, 登山口目指す



22, ようやく登山口に